



第37回(平成23年度)

特別研究指定校

鹿児島市立山下小学校

個人的思考の錬磨

子どもたちは、学習課題が提示されると同時に、教材や既習事項などをつかって比較したり、予想したりする思考活動を始める。その思考を整理し、協働的思考の錬磨の活動へ展開していく。

協同的思考の錬磨



表現的活動



協同的活動



合意形成的活動



討論的活動

「比較する」

「予想・類推する」

「見通す」

「関係づける」

「分類・整理する」

「振り返る」

「一般化する」

DS 教室



自分の考えを書いて、友だちどうして発表し合い、友だちと考えを共有することができる。

デジタルペン



思考の過程を把握することができ、その過程をもとに話し合い、確かな考えにつなげることができる。

電子模造紙



付箋紙、模造紙の活動をコンピュータで行い、考えを比較・整理・分類しながら、再び自分の思考に生かすことができる。

映像遅延装置



動きを自動録画し、遅延装置により競(演)技が終わった後に確かめることができる。

思考の可視化と評価

個人的思考をICTで記録したり、保存・蓄積したりすることで、協同的思考の際に活用しやすくなる。そして、書き込みや再生の機能などを使うことで、思考活動に深まりと、まとまりがでてくる。また、デジタル化してあることでいつでも即座に取り出し、確かめたり振り返ったりすることができる。

研究テーマ

子どもたちの思考の錬磨を目的とした多様な教科・領域等におけるICT活用の在り方
～電子黒板及び教育用デジタル周辺機器等の効果的な活用～